

# 第26回全日本スピードスケート距離別選手権大会 要 項

2019年8月30日

2019年10月14日修正

## 1. 主催

公益財団法人日本スケート連盟(以下「本連盟」という。)

## 2. 共催

八戸市

## 3. 後援

一般財団法人上月財団 青森県 青森県教育委員会 公益財団法人青森県スポーツ協会  
八戸市教育委員会 八戸市体育協会 デーリー東北新聞社 東奥日報社

## 4. 主管

青森県スケート連盟

## 5. 会場

YSアリーナ八戸(八戸市長根屋内スケート場)

青森県八戸市大字売市字奥遊下3 TEL:0178-43-9544

※競技会に関する事は、会場への問い合わせをしないこと。

## 6. 競技距離及び日程

### (1) 競技距離

距離別選手権部門(SD)

女子 500m 1000m 1500m 3000m 5000m マススタートレース(16周)

男子 500m 1000m 1500m 5000m 10000m マススタートレース(16周)

ジュニア派遣選手選考部門(Jr)

女子 500m 1000m 1500m 3000m

男子 500m 1000m 1500m 3000m

### (2) 日程

2019年10月24日(木)

公式練習 9:00-12:00(スタートトライアル 11:00-11:45)

代表者会議 13:00-16:00(スタートトライアル 15:00-15:45)

17:00(YSアリーナ八戸)

2019年10月25日(金)

公式練習 8:30-~~9:15~~、9:30-10:15

~~ウォームアップ~~ ~~9:45-10:15~~(Jr出場者のみ)

競技開始 10:30 ①Jr女子500m ②Jr男子500m ③Jr女子3000m

ウォームアップ 11:50-12:30(SD出場者のみ)

オープニングセレモニー 11:50

競技開始 12:50 ④SD女子500m ⑤SD男子500m

⑥SD女子3000m ⑦SD男子5000m

⑧SD女子マススタートレース準決勝

⑨SD男子マススタートレース準決勝

公式練習 競技終了後30分

2019年10月26日(土)



- ア) マススタートレースの競技方法は、ISU規則第 253 条4項 b)に従う。同条項に定める安全対策として、ヘルメット(ショートトラック競技の基準に適合するもの)、脛あて、手袋、ネックプロテクション、アングルプロテクション、ブレードカットを義務づけるものとする。レーシングスーツは、カットレジスタンスであることが望ましい(詳細は、ISUコミュニケーションNo.2195 を参照)。
- イ) 参加競技者が 24 名を超えた場合は、準決勝を行い、決勝は16名とする。
- ① 参加競技者を1500mの前年度記録に基づき順位付ける。1500mの前年度記録のない者は抽選により順位付け、前段の最下位の者に続く。
  - ② 準決勝は、①により順位付けられた参加競技者を必要な組に配置する。各組への配置は、ISU 規則第 296 条 4 項を準用する。
  - ③ 決勝へは、準決勝各組の上位から同数が進出する。
- ウ) スタートは、参加競技者が6列に整列して行う。参加競技者の並び順は抽選による。
- エ) 3回の中間スプリントと最終スプリントを設定し、最終順位は、第1に、中間スプリントと最終のスプリントの合計により決定し、第2に第1に続いて、フィニッシュ順位により決定する。その他順位の決定については、ISU規則第 265 条6項に従う。

## 8. 表彰

距離別選手権部門の各距離とも1位から3位までの者にメダル、フジテレビ杯及び賞状を授与する。

## 9. 参加資格

### (1) 距離別選手権部門

ア) 本年度の本連盟登録競技者であって次の各号いずれかに該当する者を参加有資格者とする。この場合、3000mは女子のみとする。

- ① 前年度国際スケート連盟(以下「ISU」という。)主催競技会に日本代表となった者。この場合、当該競技会で出場した距離に限る。
- ② 前年度記録(高地リンクを除く)が次の表に掲げる順位以内の成績である者

	500m	1000m	1500m	3000m	5000m	10000m
女子	20 位	20 位	20 位	20 位	10 位	—
男子	20 位	20 位	20 位	—	20 位	10 位

- ③ 前年度のジャパンカップポイントの合計が、次の表に掲げる順位以内の者

	500m	1000m	1500m	3000m	5000m	10000m	MSR
女子	10 位	10 位	10 位	10 位	6 位	—	20 位
男子	10 位	10 位	10 位	—	10 位	6 位	20 位

- ④ 前年度の競技会における成績が、次の表に掲げる順位以内の者

対象競技会		500m	1000m	1500m	3000m	5000m	10000m	MSR
全日本スピードスケート距離別選手権大会	女子	6 位	6 位	6 位	6 位	6 位	—	6 位
	男子	6 位	6 位	6 位	6 位	6 位	6 位	6 位
全日本ジュニアスピードスケート選手権大会	女子	6 位	6 位	6 位	3 位	—	—	3 位
	男子	6 位	6 位	6 位	—	3 位	—	3 位
日本学生氷上競技選手権大会	女子	3 位 *	3 位	3 位	3 位	—	—	—
	男子	3 位 *	3 位	3 位	—	3 位	3 位	—
全国高等学校スケート選手権大会	女子	3 位	3 位	3 位	3 位	—	—	—
	男子	3 位	3 位	3 位	—	3 位	3 位	—
全国中学校スケート大会	女子	1 位 *	1 位	1 位	1 位	—	—	—
	男子	1 位 *	1 位	1 位	1 位	1 位	—	—

\* 合計タイムの順位

- ⑤ 本連盟スピード部委員会が特に認めた者

### (2) ジュニア派遣選手選考部門

ア) 本年度のジュニア対象年齢の本連盟登録競技者であって次の各号いずれかに該当する者を参加有資格者

とする。

- ① 前年度次のISU主催競技会に日本代表となった者。この場合、当該競技会で出場した距離に限る。
  - a. ジュニアワールドカップスピードスケート競技会第1戦又は最終戦
  - b. 世界ジュニアスピードスケート選手権大会
- ② 前年度ジュニア対象年齢競技者の記録(高地リンクを除く。)において(これを「ジュニアタイムランキング」とする)、次の表に掲げる順位以内の成績である者。

	500m	1000m	1500m	3000m
女子	30位	30位	30位	30位
男子	30位	30位	30位	30位

- ③ 前年度の競技会における成績が、次の表に掲げる順位以内の者

対象競技会		500m	1000m	1500m	3000m
全日本ジュニアスピードスケート選手権大会	女子	8位	8位	8位	6位
	男子	8位	8位	8位	—
全国高等学校スケート選手権大会	女子	6位	6位	6位	6位
	男子	6位	6位	6位	—
高校選抜スピードスケート競技会	女子	6位	6位	6位	6位
	男子	6位	6位	6位	6位
全国中学校スケート大会	女子	3位*	3位	3位	3位
	男子	3位*	3位	3位	3位

\* 合計タイムの順位

- ④ 2020 スピードスケートユースオリンピック派遣選手選考において、第1次選考(2018年度実施)を通過した者
  - ⑤ 本連盟スピード部委員会が特に認めた者
- (3) 外国選手の特別参加は、本連盟事業による国際交流、海外チーム・選手招待等の場合に限られ、本連盟スピード委員会において審議の上、理事会の承認を受けて決定する。ただし、外国選手に賞は与えないものとする。

## 10. 参加距離

- (1) 同一の距離においては、距離別選手権部門、ジュニア派遣選手選考部門のいずれかへの参加とする。
- (2) 参加有資格者は、参加資格を取得する条件を充足した距離(以下「資格取得距離」という。)について参加することができる。ただし、男子3000mについてはISU規則第108条第1項d)に定めるジュニア対象年齢(2000年7月1日以降に生まれた者)の者のみが参加できるものとする。男子3000mが資格取得距離であるシニア対象年齢の者は、これを男子1500m又は5000mに振り替えて参加することができる(男子1500m又は5000mが既に資格取得距離であったとしても、他の距離への振替は認めない。)
- (3) 次の距離は参加申込締切時点の参加申込者数により参加制限を設定する。
  - ア) 女子5000m及び男子10000mの競技参加者は最大12名とする。参加申込者が12名を超えた場合は次の優先順で12名を競技参加者とする。
    - ① 本競技会の女子3000m又は男子5000mの6位以内の者
    - ② 当該距離の前年度記録順
  - イ) マスタートレースの競技参加者は最大24名とする。参加申込者が24名を超えた場合は準決勝を行い、決勝は16名とする。
- (4) 本連盟強化指定選手(シニア対象年齢者)にあつては前記(2)(3)の制限に関わらず参加資格を取得していない距離への参加を認めることができる。この場合、本連盟強化委員会が推薦し本連盟スピード部委員会が承認した者に限る。なお、前記(3)アの①②を満たすことなく女子5000m又は男子10000mへの参加が認められた者は、競技参加者最大数の外数とする。

## 11. 参加申込

- (1) 参加資格を有する者にあつてはJSFマイページ(<https://www.skatingjapan.jp/mypage/>)の競技会参加申込サイト(以下「サイト」という。)で申し込むこと。

- ア) 参加申込する距離により、「距離別選手権部門(SD)」、「ジュニア派遣選手選考部門(Jr)」の両方への参加申込を要する。
- イ) 参加申込に際しては参加申込者のメールアドレスを入力し参加申込完了直後にサイトから自動送付される参加申込受理の通知(以下「受理通知」という。)を受け取る。この受理通知は参加申込にかかる疑義が生じた際確認するため、代表者会議が終了するまで保存しておくこと。
- ウ) 参加申込にかかる疑義で受理通知が確認できない場合は参加申込締切時の参加申込状況により以後の処理を行うものとする。
- エ) 参加申込締切前に参加申込の内容修正又は取り消しを行う場合はサイトで行うこと。この場合、イ)同様に受理通知を受け取る。(サイトへのログインは、参加申込締切日の正午までとする。)
- オ) 参加申込締切後に参加を取り消す者は大会事務局へ必ず棄権届出書(別紙4)を提出すること。
- カ) 大会事務局  
〒039-0315 青森県三戸郡南部町大字福田字あかね 5-27  
第26回全日本スピードスケート距離別選手権大会事務局  
TEL:0178-84-4014 FAX:0178-84-4014 E-mail:jimukyoku@aomoriskate.ec-net.jp
- 本連盟事務局  
〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 Japan Sport Olympic Square  
公益財団法人 日本スケート連盟  
TEL:03-5843-0415 FAX:03-5843-0416 E-mail:jsf@skatingjapan.or.jp
- キ) 参加申込状況は参加申込締切後、本連盟ホームページに公開する。
- (2) 参加申込料は参加申込者名の銀行振込みで支払う(銀行振込に限る)ものとし振込手数料は申込者の負担とする。ただし、複数の申込者の参加料を一括して支払う場合は、参加料振込明細書(別紙2)を大会事務局へ送付すること。
- ア) 参加申込料 1名 1距離につき 5,000円
- イ) 振込先 金融機関名: 青い森信用金庫 廿三日町支店  
口座番号: 普通 0628463  
名義: 青森県スケート連盟 大会事務局 代表 仁科恭典(ニシタ ヲカリ)  
※振込人名義の前に必ず「SSSD」と記入すること
- ウ) 参加申込締切後はいかなる場合も支払われた参加申込料は返還しない(未納の者にあつてはこれを徴収する)。ただし、次に掲げる者はこの限りではない。
- ① 10.(3)アの参加制限により出場できなくなった者の当該距離相当分
- ② 本連盟が特に認めた者
- エ) (2)ウ)に該当する者の支払われた参加申込料は銀行振込により返還するものとする。この場合、振込手数料は主催者の負担とする。
- (3) 参加申込締切 **2019年10月9日(水) 正午** ※受付開始:2019年9月10日(火)
- (4) 中学生以下の者にあつてはサイトから出力した参加申込書(副)の親権者署名欄に親権者が自署した参加承諾書を最初の代表者会議までに大会事務局へ提出すること。
- (5) 参加申込が遅延した者(参加申込締切までに参加申込料が納入されていない者を含む。)又は参加申込書が不完全な者は本競技会への参加を認めない。
- (6) 参加申込にかかる個人情報、個人情報の保護に関する法律・関連法令を厳守し、競技運営以外の目的には使用しない。

## 12. 宿泊

各自で手配すること。

## 13. その他

- (1) 本競技会中(6.(2)の全日程中)の事故等については応急処置のみとし責任は負わない。
- (2) 本競技会への参加に際してはスポーツ傷害保険等に必ず加入していること。
- (3) 本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会である。
- ア) 本競技会参加者は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コン

トロール手続の対象となることに同意したものとみなす。

- イ) 未成年者(20 歳未満)については、ドーピング検査を含むドーピング・コントロール手続に対する親権者からの同意を所属競技団体へ別途提出しているもののみエントリーできる。
  - ウ) 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査(尿・血液等検体の種類を問わず)を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性がある。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。
  - エ) 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト(<http://www.playtruejapan.org>)にて確認すること。
- (4) 本競技会の成績により次の競技会への派遣選手を選考する。
- ア) 2019/2020 ISUワールドカップスピードスケート競技会第1戦から第4戦
  - イ) 2019/2020 ISUジュニアワールドカップスピードスケート競技会第1戦、第2戦
- (5) 公式競技会への参加に際しては、バッジテスト級認定証を携行すること。
- (6) 大会当日は同じ運動公園内の施設で他競技の大会も開催されるため、駐車場が混雑することが予想される。会場にチーム車両の駐車を希望する場合は、参加申込と同時に大会事務局に利用台数をメールにて通知すること。通知のあったチームには駐車証を発行し、駐車エリアを確保する。事前に通知がない場合は、会場駐車場に駐車できない場合もある。